

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 5 月 29 日 (2014.5.29)

【公表番号】特表 2013-507644 (P2013-507644A)

【公表日】平成 25 年 3 月 4 日 (2013.3.4)

【年通号数】公開・登録公報 2013-011

【出願番号】特願 2012-532504 (P2012-532504)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/32 (2006.01)

G 0 3 F 7/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 F 7/32

G 0 3 F 7/00 5 0 2

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 26 年 4 月 10 日 (2014.4.10)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

10 ～ 25 重量 % のエステル炭化水素成分と、

50 ～ 75 重量 % のエーテル炭化水素成分と、

10 ～ 25 重量 % のアルコール炭化水素成分と

を含む、ポリマーウォッシュアウト溶剤であって、

前記エステル炭化水素成分が、C1 - C5 アルキル、ベンジル、またはベンジル誘導体のエステル化合物、ならびにこれらのエステル化合物の混合物の群から選択される化合物であり、

前記エーテル炭化水素成分が、ジオールから誘導された C1 - C8 アルカンのジエーテルであって、2 つの C1 - C3 アルコキシ基を含み、

前記アルコール炭化水素成分が、n - ブタノールである、フレキシソ印刷版を現像するためのポリマーウォッシュアウト溶剤。

【請求項 2】

前記エーテル炭化水素成分が、2 つのメトキシ基を有するアルカンのジエーテルである、請求項 1 に記載のポリマーウォッシュアウト溶剤。

【請求項 3】

前記エステル炭化水素成分が、酢酸エステル、およびベンジルまたはベンジル誘導体から選択される、請求項 1 または 2 に記載のポリマーウォッシュアウト溶剤。

【請求項 4】

前記エーテル炭化水素成分が、ジプロピレングリコールジメチルエーテルである、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載のポリマーウォッシュアウト溶剤。

【請求項 5】

前記エステル炭化水素成分が、酢酸ベンジルである、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載のポリマーウォッシュアウト溶剤。

【請求項 6】

洗浄工程においてフレキシソ印刷版を現像するための、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載のポリマーウォッシュアウト溶剤の使用。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0019

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0019】

好ましくは、本発明のポリマーウォッシュアウト溶剤において、エーテル炭化水素成分は、ジオールから誘導されたC1 - C8アルカンのジエーテルであって、2つのC1 - C3アルコキシ基を含む。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0020

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0020】

より好ましくは、本発明のポリマーウォッシュアウト溶剤において、エーテル炭化水素成分は、内部エーテル基、および好ましくは2つのメトキシ基を有するアルカンのジエーテルを含む。特に好ましくは、ジプロピレングリコールジメチルエーテルなどのジエーテルである。